

# 真宗総合研究所 研究紀要

11

1993

# 目次

清沢満之の研究——信仰・思想・実践——	
清沢満之研究の課題	神戸和麿 2
『宗教哲学骸骨』(The Skeleton of Philosophy of Religion)の意義	加来雄之 5
——選択と実験に基づく思索——	
清沢満之の平等思想	安藤文雄 31
清沢満之にとっての教育	一 楽 真 49
明治初期の真宗大谷派における研究教育とその体制	三 明 智 彰 65
——護法場・学校組織を中心に——	
園林文庫蔵明治五・六年建白書——教部省体制と大谷派——	熊野恒陽 上杉義麿 119
一九九二(平成四)年度研究所報告	141
体育とスポーツのイメージの計量的分析——因子分析法による比較——	中 桐 伸 吾 43
“Relying Upon” or “Taking Refuge” as a Genuinely Human Activity	John Ross Carter 17
Extinction into Quiescence is Bliss	Terakawa Shunsho 1

(translated by Robert F. Rhodes)

# ANNUAL MEMOIRS OF THE OTANI UNIVERSITY SHIN BUDDHIST COMPREHENSIVE RESEARCH INSTITUTE

1993

Volume 11

---

Extinction into Quiescence is Bliss <i>TERAKAWA Shunsho (translated by Robert F. Rhodes)</i>	1
“Relying Upon” or “Taking Refuge” as a Genuinely Human Activity <i>John Ross CARTER</i>	17
Numerical Analysis of Images of the Terms “ <i>taïku</i> ” and “sports”: A Comparison by Factor Analysis <i>NAKAGIRI Shingo</i>	43
Petitions to the Abbot of Shinshu Otaniha Denomination during the 5 th and 6 th Years of Meiji found in the Onrinbunko Collection: Shinshu Otaniha and the Education System of Kyobusho <i>KUMANO Koyo, UESUGI Yoshimaro</i>	119
Education and its Administration in Shinshu Otaniha Denomination during the Early Meiji Era: especially on <i>Gohōjo</i> and the Educational Institutions <i>MIHARU Toshiaki</i>	65
The Study of Kiyozawa Manshi: His Faith, Thought and Practice:	
Kiyozawa Manshi’s View of Education <i>ICHIRAKU Makoto</i>	49
The Concept of Equality in Kiyozawa Manshi <i>ANDO Fumio</i>	31
The Significance of <i>The Skeleton of Philosophy of Religion</i> : Philosophical Reflection based on Selection and Experimentation <i>KAKU Takeshi</i>	5
The Thematic Problems of the Study of Kiyozawa Manshi <i>KANBE Kazumaro</i>	2

---

Reports	141
---------	-----

## 編集後記

本紀要には、「一般研究」の成果として、一九九一年度および一九九二年度の二年間にわたって研究された共同研究「清沢満之の研究——信仰・思想・実践——」（代表者 神戸和磨教授）から、神戸教授の本研究全般における課題の報告と、加来・安藤・一楽の三論文を、また一九九二年度の個人研究の成果である中桐論文を掲載することができた。

「指定研究」からは、「大学史編纂研究」の三明論文、「真宗史料研究」の熊野・上杉論文を、さらに「国際仏教研究」による寺川教授の講演の翻訳と一九九三年度嘱託研究員のカーター論文を掲載することができた。

「指定研究」の「西藏文献研究」は、フランス国立科学研究所の今枝由郎教授（嘱託研究員）とアップル社の元プログラマーであったステイヴン・ハートウエル氏を迎えて、コンピュータによるチベット語システムの開発に取り組み、このほどほぼ完成に近づいた。今後のチベット語文献のコンピュータ処理に大いに役立つことである。また、一九九三年八月三日から五日、大谷大学において第六回国際真宗学会が開催され、「国際仏教研究」は積極的に参加し、多くの研究者との交流を深め、今後の研究の方向について大いに学ぶものがあった。

内外にわたり、研究所の果たすべき役割がますます増大してくるようと思われる。

（輝）

### 大谷大学真宗総合研究所研究紀要 第11号

1992(平成4)年度研究報告

1994(平成6)年3月31日発行

編集 大谷大学真宗総合研究所

代表者 所長 藤田 昭彦

装丁印刷 平楽寺書店

発行 大谷大学真宗総合研究所

〒602 京都市上京区寺町通今出川上ル二丁目

Tel. 075-212-5500 Fax. 075-212-5501